

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
教育行政	こわだ かずよし 小和田 和義 (男) (60歳)	福井県立金津高等学校長(H19.4.1～H21.3.31) 福井県教育庁高校教育課長(H21.4.1～H23.3.31) 福井県立藤島高等学校長(H23.4.1～H24.3.31) 福井県教育庁企画幹(学校教育)(H24.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、数学科教員として優れた指導力を発揮し、県教育庁において高校教育課長、企画幹などを歴任し、学力向上や県立学校再編など教育行政の振興・発展に大きく尽力した。 平成19年度には県立金津高等学校長に就任し、平成20年度の第一期生の入学など連携型中高一貫教育の充実・発展に寄与した。 平成23年度は藤島高等学校長として、生徒サイドに立ったきめ細かい指導を教職員に浸透させ、進学実績を向上させた。 また、平成21年度から2年間は県教育庁高校教育課長として、平成24年度からは同企画幹として、教員の指導力向上を中心に据えた学力向上の諸施策、奥越地区や若狭・坂井地区の再編整備などの高校再編、奥越地区特別支援学校の開校など、常に児童生徒に温かい目を向けながら、類まれな指導力を発揮した。
学校教育(小学校)	あおき のぶえき 青木 信益 (男) (61歳)	坂井市立長畝小学校長(H18.4.1～H20.3.31) 坂井市立三国北小学校長(H20.4.1～H24.3.31) 坂井市立平章小学校長(H24.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、保健体育を中心とした教育実践に取り組み、活力ある学校教育の充実に努めた。特に、運動遊びや器械運動における器具の工夫を行ったり、体力づくりにおいて個に応じたマラソンコース設定を行ったりした。 平成18年度から坂井市立長畝小学校長に任じられ、週1回発行の学校便りを中心とした情報発信を行い、保護者、地域から信頼される学校づくりに貢献した。 平成20年度から坂井市立三国北小学校長に任じられ、県国語教育研究発表会の会場校として、教職員の授業力向上のための研究集会実施や教育環境整備に尽力した。 平成24年度から坂井市立平章小学校長として地域・保護者との密接な信頼関係を築き、地域行事への積極的な参画や、国際理解教育の推進など、多方面から教育活動の活性化を行った。
	あまや はるお 天谷 治夫 (男) (61歳)	福井市清水西小学校長(H20.4.1～H24.3.31) 福井市足羽小学校長(H24.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、小学校教育一筋に携わってきた。その間、絶えず研究と修養に努め、教育愛と使命感にあふれた真摯な態度で教育に精励した。また、一人ひとりの児童を大切に育て、情熱を持って献身的に教育活動に取り組み、児童や保護者はもとより、地域からも厚い信頼を得た。 平成20年度から福井市清水西小学校長に任じられ、平成23年度には、県教育委員会から「コアティーチャー養成事業」の指定を受け、言語活動の充実を図りながら読解力を身に付けさせることを研究の柱として、研究授業を広く公開し、その先進的な取組は高く評価された。 平成24年度から福井市足羽小学校長に任じられ、文部科学省から「魅力ある学校づくり調査研究事業」の指定を受け、光陽中学校区内の小中学校と連携して、研究実践に取り組んだ。 また、平成25年度は福井県小学校教育研究会長として、福井県全体の小学校教育の発展に寄与した。
	きたじま よしあき 北嶋 義明 (男) (60歳)	あわら市北潟小学校長(H19.4.1～H22.3.31) あわら市芦原小学校長(H22.4.1～H26.3.31)	あわら市	永年にわたり、小・中学校教育及び教育行政の職務に精励し、学校教育の充実発展に寄与するとともに、多大の功績を上げた。特に、視聴覚教育や放送教育の普及・発展のために研鑽を積み、授業公開や実践発表を重ねるなど、坂井地区や県全体の視聴覚教育研究の推進役となった。 県教育研究所在職中には、道徳教育の研究やその普及に努め、平成8年には「東海北陸教育研究所連盟研究協議会福井大会」の実行委員長として大会の成功に大きく貢献した。 平成19年度に校長に就任してからは、あわら市の国語・書写教育や白川文字学を活かした漢字教育の振興と発展のためにリーダーシップを発揮するとともに、平成25年度は、あわら市校長会長として、全体の学校教育の活性化やその発展に向けて指導的役割を果たし、教育力の向上や教員の指導力向上に大きく貢献した。
	たなか まさたか 田中 眞貴 (男) (60歳)	永平寺町御陵小学校長(H20.4.1～H23.3.31) 永平寺町志比小学校長(H23.4.1～H26.3.31)	永平寺町	永年、中学校における社会科教育の向上に情熱を注ぎ、特に、率先して授業方法の改善に取り組むとともに、学力定着・学力向上に対して、熱心に実践して成果を上げた。 平成3年度からは、派遣スポーツ主事として吉田郡の社会体育を担当し、郡内のスポーツ愛好人口の増加と体育振興に貢献した。 平成20年度からは、永平寺町御陵小学校長として教職員を指導しながら、児童たちの良さを伸ばす学校経営を行って大きな成果を上げ、地域からも高い評価を得た。 平成23年度から、永平寺町志比小学校長として開かれた学校づくりに尽力するとともに、平成25年度の福井県書写書道教育研究大会において、小学校授業会場校として書写の授業づくりにリーダーシップを発揮し、書写教育を通じた児童の学力向上に力を発揮した。

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（小学校）	なかの つよし 中野 強 (男) (61歳)	敦賀市立咸新小学校長(H18.4.1～H21.3.31) 敦賀市立敦賀南小学校長(H23.4.1～H26.3.31)	敦賀市	永年にわたり、確固たる教育信念のもと、誠実な教育実践を継続し、算数・数学科教育ならびに学校教育全体の充実発展に先導的な役割を果たした。 平成18年度からは、敦賀市立咸新小学校長として教職員の意識改革をはじめ、学校教育全般の充実に努め、地域からも大きな評価を得た。 平成21年度からは、敦賀市学校教育課長として、市内教職員の人事管理、服務等の教育行政を担い、敦賀市教育界の推進役として優れた手腕を発揮した。 平成23年度からは、敦賀市立敦賀南小学校長として、確かな学力の育成、豊かな人間性の育成、家庭・地域、関係機関との連携に努め、大きな成果をあげた。
	ながたに あきひろ 永谷 彰啓 (男) (60歳)	あわら市新郷小学校長(H17.4.1～H20.3.31) 坂井市立春江小学校長(H20.4.1～H23.3.31) 坂井市立高椋小学校長(H23.4.1～H26.3.31)	坂井市	永年にわたり、授業づくりや学級経営を中心に教育実践を熱心に展開してきた。授業づくりについては、子どもたちが学び合い、高め合う授業づくりに継続的に取り組んできた。また、人権に関する教育にも熱意を持って取り組み、「生き方を考える学習」として、子ども自らが考えていく学習を充実させた。 平成17年度からは、校長として、リーダーシップを発揮し、学力の向上、ICT教育の推進に精力的に取り組んできた。坂井市立新郷小学校長時代は、文部科学省の「生活習慣に関する実践研究」の指定を受け、子どもの生活改善に結びつく研究を行い、大きな成果を収めた。 また、坂井市立高椋小学校長として、教員の授業力向上に取組み、多くの研究授業を実施する中で授業研究を充実させた。
	にしで けんいち 西出 健一 (男) (61歳)	勝山市立荒土小学校(H23.4.1～H24.3.31) 勝山市立成器南小学校(H24.4.1～H26.3.31)	勝山市	永年にわたり、誠実な教育実践を続け、小・中学校教育に情熱を注ぐとともに、国語科教員として研鑽に励み、多大な功績を上げ、国語教育の充実発展に大きな功績を残した。 平成23年度に勝山市立荒土小学校長として任じられ、教職員をまとめるとともに、開かれた学校づくりに尽力した。また、勝山市で開催された小学校教育課程福井県集会の事務局長として大会の運営に当たった。 平成24年度から、勝山市立成器南小学校長として任じられ、確固たる信念のもと学校経営に当たった。また、平成25年度は勝山市校長会長として、学校教育の充実・発展に努めるとともに、教育研究の推進と向上に取組み、優れた手腕を発揮した。
	はまだ たかし 濱田 隆 (男) (61歳)	美浜町美浜北小学校長(H19.4.1～H22.3.31) 若狭町立三宅小学校長(H22.4.1～H24.3.31) 小浜市立西津小学校長(H24.4.1～H26.3.31)	小浜市	永年にわたり、小学校教育一筋に職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に、小学校における授業づくりに力を注ぎ、楽しくわかりやすい授業の実践と望ましい学級集団づくりに尽力した。 平成19年度から美浜町美浜北小学校長に任じられ、平成20年度には文部科学省および福井県教育委員会から学力向上実践推進事業の指定を受け、リーダーシップを発揮し成果をあげた。 平成24年度には小浜市立西津小学校長に任じられ、地域に開かれた学校づくりに尽力するとともに、平成25年度は、小浜市校長会長として、市全体の教育発展に寄与した。
	みたむら たくりゅう 三田村 琢龍 (男) (60歳)	越前市坂口小学校(H18.4.1～H20.3.31) 越前市白山小学校(H20.4.1～H23.3.31) 越前市武生南小学校(H23.4.1～H26.3.31)	越前市	永年にわたり、小学校教育に情熱を注ぎ、特に、生徒指導や体育教育に関する研究実践に努め、顕著な業績をあげた。 平成元年から4年間にわたり、社会教育主事として、県内の学校体育ならびに生涯スポーツの充実に大きく貢献した。 平成18年度からは、越前市坂口小学校長として、地域に開かれ信頼される学校づくりを推進し、多大な功績を上げるとともに、越前市の教育実践全般を牽引してリーダーシップを発揮した。 平成23年度から越前市武生南小学校長として、越前市校長会長の要職に就き教育研究の推進と向上に取り組むなど、小学校教育の推進役として優れた手腕を発揮している。
	むろ ひでのり 室 秀典 (男) (61歳)	永平寺町上志比小学校(H20.4.1～H23.3.31) 永平寺町松岡小学校(H23.4.1～H26.3.31)	永平寺町	永年にわたり、温厚な人格に加えて誠実な教育実践を続け、保健体育を中心とした学校教育の充実発展に大きな功績を残した。また、部活動の指導においても、優れた指導力を発揮し、競技力の向上と児童生徒の健全育成に努力した。 昭和63年度からは、派遣スポーツ主事として、地域のスポーツ普及拡大に大きく貢献した。 平成20年度から永平寺町上志比小学校長、および平成23年度から永平寺町松岡小学校長として、誠実で温かみのある指導力で児童生徒の育成と教職員の資質向上を行った。特に、対話型学習の授業研究推進に率先して努力し、子どもたちの主体的な学びによる授業づくりの実践研究に取り組み、大きな成果を上げた。また、児童の生活習慣の工夫改善についても、家庭と連携をした取組を実践し、健全な児童育成に尽力した。

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (中学校)	かみばやし きょうぞう 上林 恭三 (男) (61歳)	小浜市立田島小学校長(H20.4.1～H24.3.31) 小浜市立小浜中学校長(H24.4.1～H26.3.31)	小浜市	永年にわたり、確固たる教育信念を持ち情熱あふれる教育実践を続け、将来を見据えた学校教育の充実、教員の意識改革に大きな功績を残した。また、社会科指導・部活動指導においても、優れた指導力をもとに、指導法の工夫改善・競技力向上に貢献し、近隣小中学校の中心として指導力を発揮した。 平成20年度からは、小浜市立田島小学校長として誠実な学校経営を行い、地域・保護者からの信頼を得た。 平成24年度からは、小浜市立小浜中学校長として、「生きる力」と「授業力アップ」の研究を重点におき、生徒の学力向上と教職員の資質向上を図った。
	くろさき ふみお 黒崎 文夫 (男) (61歳)	越前町立織田小学校長(H20.4.1～H23.3.31) 越前町立織田中学校長(H23.4.1～H26.3.31)	越前町	永年にわたり、特に中学校の社会科教育に力を注ぎ、観光ポスターや古文書を資料として活用したり、授業にポートフォリオの手法を使ったりして、主体的に学ぶ学習の研究実践に努めた。 平成7年度から丹生郡朝日町教育委員会社会教育主事として、青少年の教育や公民館活動の活性化に尽力した。また、平成11年度からは、丹生郡社会科教科指導員として社会科教育の充実に貢献した。 平成20年度に越前町立織田小学校長に任じられ、誠実な指導力で児童生徒の健全な育成と、教職員の資質能力の向上をめざした学校経営を行った。 平成23年度に越前町立織田中学校長に任じられ、地域に根ざした中学校教育の実践研究を行い、平成25年度は丹生郡校長会長として、地域全体の教育の充実・振興に寄与した。
	くわもり ぜんいち 桑盛 善一 (男) (61歳)	大野市阪谷小学校(H20.4.1～H23.3.31) 大野市陽明中学校(H23.4.1～H26.3.31)	大野市	永年にわたり、学校教育及び教育行政の職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に、県保健体育課スポーツ主事及び県スポーツ課主査としての勤務を通し、少年スポーツの振興について積極的に研究実践を重ね、指導者養成等に尽力した。 平成20年度から、大野市阪谷小学校長に任じられ、地域に根ざした学校教育の充実にリーダーシップを発揮するとともに、平成21年度は、大野市小学校体育振興連盟会長として、市内小学生の運動への関心を高めるとともに、体育・スポーツ活動の充実発展のため積極的に尽力した。 平成23年度から大野市陽明中学校長として、誠実で温かみのある指導力で、心の教育や地域に開かれた学校づくりを推進し、信頼される学校の実現に向けて大きな成果を上げた。 また、平成25年度は大野市校長会長として、当市の教育の充実・発展のために寄与した。
	すぎむら としたか 杉村 敏隆 (男) (60歳)	福井市木田小学校長(H22.4.1～H24.3.31) 福井市明倫中学校長(H24.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、学校教育及び教育行政の職務に精励し、その充実発展に貢献した。とりわけ国語教育と学校教育行政に尽力し、本県教育の振興に精励し、その充実・発展に努めた。 平成20年度から福井県教育庁義務教育課長に任じられ、「元気ふくいっ子学力向上センター」の設置や、児童生徒の読解力や学力の検証、指導方法の研究・実践を行い、本県小中学校教育の振興はもとより、全国トップクラスの児童生徒の学力向上に努めた。 平成22年度から福井市木田小学校長に任じられ、「第50回福井県造形教育研究大会」に向けて、図画工作科の授業を全教職員で研究し、児童一人一人を大切にする教育にこころがけた。 平成24年度から福井市明倫中学校長に任じられ、地域に開かれた学校づくりに取り組むとともに、平成25年度は、福井県中学校教育研究会会長として福井県全体の中学校教育の発展に寄与した。
	なかがわ むねゆき 中川 宗幸 (男) (61歳)	小浜市立中名田小学校長(H20.4.1～H22.3.31) 美浜町美浜北小学校長(H22.4.1～H24.3.31) 小浜市立小浜第二中学校長(H24.4.1～H26.3.31)	小浜市	永年にわたり、小・中学校教育に情熱を注ぐとともに、主体的に取り組む学習過程の工夫に取り組み、理科教育、へき地複式教育の充実・発展に努めた。 平成8年度から小浜市教育委員会、平成10年度から嶺南教育事務所の指導主事を務め、人権教育の推進等に尽力した。 平成20年度からは、校長として、これまでの経験に基づいた学校経営に努め、基礎学力向上の推進、および、家庭・地域等との連携に努力し、成果を上げた。また、平成25年度は福井県中学校教育研究会若狭ブロック長を務め、若狭地区の中学校教育発展に寄与した。
	はぎわら せいじろう 萩原 清二郎 (男) (60歳)	高浜町立日引小学校長(H19.4.1～H21.3.31) 高浜町立和田小学校長(H21.4.1～H24.3.31) 高浜町立高浜中学校長(H24.4.1～H26.3.31)	高浜町	永年にわたり、小・中学校教育に情熱を注ぐとともに、平成3年度から社会教育主事として、人権教育の推進に尽力した。また、平成11年度からは嶺南教育事務所特殊教育課長として、特別支援教育の理解促進に貢献した。 平成19年度から校長として活躍し、児童生徒一人ひとりを掛け替えのない存在と捉え、密接なコミュニケーションを図り、受け入れ、認める教育方針は、慈愛ある教育者として児童生徒や保護者から深く信頼され、高い評価を受けた。

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（中学校）	ひよし たつや 日芳 達也 (男) (61歳)	あわら市芦原小学校長(H20.4.1～H22.3.31) 坂井市立春江中学校長(H22.4.1～H26.3.31)	坂井市	永年にわたり、中学校において理科教育を中心に熱心な指導を実践し、特に、探究の過程を大切にした指導方法の工夫改善に取り組み、学校教育の充実・発展に貢献した。 平成元年度からは、派遣スポーツ主事として、地域へのスポーツの普及拡大に貢献した。 平成20年度からは、校長として豊かな経験と深い思慮に基づいた学校経営を行い、リーダーシップを発揮するとともに信頼される学校の実現に向けて大きな成果を上げた。 平成23年度には、坂井地区中体連会長として、地域の部活動の発展に努めた。 平成25年度には、坂井地区校長会長として、地域の教育の充実・発展のために寄与した。
	ふくしま ゆういち 福島 裕一 (男) (61歳)	敦賀市立西浦小学校長(H18.4.1～H22.3.31) 敦賀市立中央小学校長(H22.4.1～H24.3.31) 敦賀市立松陵中学校長(H24.4.1～H26.3.31)	敦賀市	永年にわたり、理科教育を中心に熱心な教育実践を展開し、教材開発や主体的に学習できる学習過程、評価等の工夫と研究に取り組み、多大な功績を上げた。 また、主体的に活動する児童・生徒の育成を目指した児童会や生徒会活動の在り方についても研究・実践に努め、特別活動の充実が大いに寄与した。 平成18年度に敦賀市立西浦小学校長に任じられ、豊かな経験と深い思慮に基づいた学校経営を行うとともに、へき地複式教育の充実や確かな学力の向上を目指し、主体的に学ぶ生徒の育成に努めた。 平成24年度からの敦賀市立松陵中学校長としては、知・徳・体の調和がとれた豊かな人間形成をめざした教育活動の推進と、生徒一人一人が存在感を持ち自己肯定感を高めるための自治的集団づくりを推進し、多大な成果を上げた。
	まつだ ふみひろ 松田 文博 (男) (61歳)	福井市棗小学校長(H21.4.1～H23.3.31) 福井市森田中学校長(H23.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、学校教育の職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に体育科教員として体育授業の研究推進に大きな成果を上げた。 平成21年度から福井市棗小学校長に任じられ、幼小中併設校の特色を生かし、園児・児童・生徒の交流活動を推進するとともに、地域の自然体験活動を積極的に取り入れるなど、地域に根ざした教育活動を推進した。 平成23年度から福井市森田中学校長に任じられ、地域や各関係団体と連携した開かれた学校づくりに取り組んだ。特に、あいさつや清掃指導を力点を置き、校舎内に花を飾ったりして教育環境の整備に努めた。 平成25年度は福井県中学校体育連盟会長として、福井県内中学生のスポーツ振興と普及および学校教育の一環としての運動部活動の充実発展に尽力した。
学校教育（県立学校）	くさおけ ゆきこ 草桶 由紀子 (女) (60歳)	福井県立武生東高等学校長(H22.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、高等学校英語科の教育実践に精通し、国際理解教育を人間教育と捉えた指導で本県英語科教育の発展に力を注いだ。また、県教育研究所教科研修課長として、平成20年度には「英語の発音が楽しくなる本」を編集し、平成21年度には県独自の学力調査をSASAと命名し、調査内容を工夫して本県小中学生の更なる学力向上を図った。 平成22年度から4年間は、武生東高等学校長として姉妹校留学・交流事業を促進し、国際科だけでなく普通科にも国際理解教育を広げた。平成23・24年には県高校生100人派遣事業の実行委員長として事業の成功に寄与した。 また、平成25年度には、福井県高等学校長協会副会長を務め、本県高等学校教育の振興・発展にも大きく貢献した。
	しろたに よしのり 城谷 義則 (男) (61歳)	福井県立嶺南西養護学校長(H21.4.1～H24.3.31) 福井県立若狭高等学校長(H24.4.1～H26.3.31)	小浜市	永年にわたり、高等学校理科の教育実践に精通し、本県理科教育の発展に寄与した。また、教育庁指導課、学校教育課、高校教育課主任として、教員の指導力向上や連携型中高一貫教育の本県での導入に尽力した。 平成21年度からは、嶺南西特別支援学校長として、児童生徒一人ひとりの発達や障害に応じた教育や、社会自立をめざす教育を学校として実践した。 平成24年度からは、若狭高等学校長として、同年に設置された文理探究科の礎を築くとともに、海洋科学科の次年度設置に向けて県立大学海洋生物資源学部との連携協定を締結するなど、若狭地区の学校再編に貢献した。また、「高校生環境・エネルギー学会」を開催するなどスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校としての研究を推進した。
	たかの こうじ 高野 幸嗣 (男) (61歳)	福井県立南越養護学校長(H22.4.1～H23.3.31) 福井福井県立嶺北養護学校長(H23.4.1～H25.3.31) 福井福井県立嶺北特別支援学校長(H25.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、特別支援教育に情熱を注ぎ、本県特別支援教育の発展に尽力した。 平成8年度からの県教育庁学校教育課や高校教育課勤務では、養護学校適正配置に取り組み、南越特別支援学校開校に向けた基本構想・基本計画を取りまとめた。 平成16年11月には南越養護学校の初代教頭として開設準備や開校後の基礎作りを行った。 平成19年度には教育庁高校教育課において奥越特別支援学校の開設に向けた準備を進めた。平成20年度からの2年間は高校教育課特別支援教育室長として、発達障害者の課題に取り組む、特別支援教育の理解・啓蒙、推進に大きく貢献した。 平成22年度には南越特別支援学校長として、平成23年度には嶺北特別支援学校長として保護者等との連携に力を入れ、明るく活気ある学校運営に取り組んだ。 平成25年度には、県特別支援学校長協会会長、県高等学校長協会副会長を務め、本県高等学校教育の振興・発展にも大きく貢献した。

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (県立学校)	にしかわ ゆずる 西川 謙 (男) (61歳)	越前市武生第三中学校長(H22.4.1～H24.3.31) 福井県立足羽高等学校長(H24.4.1～H26.3.31)	南越前町	永年にわたり、保健体育科の教育実践に精励し、生徒の体力や技術向上に優れた指導力を発揮した。県教育研究所勤務では体育や保健の指導法を研究し普及を図った。 平成22年度からは、武生第三中学校長として、中学校と高等学校の連携を促進するとともに、ICT教育の充実、教職員の多忙化解消などに努めた。 平成24年度からは足羽高等学校長として、45分7限授業、学校設定教科「足羽タイム」の創設など学校改革に尽力し、県教育委員会から「授業改善重点実施校」指定を受け、教職員の授業改善に指導力を発揮した。更に、中国との国際交流活動事業の発展に努めたり、女子バスケットボール部、ライフル射撃部、レスリング部の全国大会入賞をなど、文武両道に励む生徒を育成した。 また、県高等学校体育連盟理事長を2年間、県高等学校野球連盟会長を2年間務め、部活動の振興や競技力の向上に努めた。
	はせがわ としゆき 長谷川 俊基 (男) (61歳)	福井県立坂井農業高等学校長(H21.4.1～H23.3.31) 福井県立福井農林高等学校長(H23.4.1～H26.3.31)	大野市	永年にわたり、農業科の教育実践に精励し、福井農林高等学校教諭として「ふれあい農園」などの企画立案・運営にあたり農業高校ならではの開かれた学校づくりを推進した。 平成21年度からは坂井農業高等学校長として、福井南養護学校教頭の経験を生かした、一人ひとりに応じた教育を職員に意識づけた。 平成23年度からは、福井農林高等学校長として、農業教員の研修の充実を図り専門教育の指導力を向上させた。また、外部との連携を強化したキャリア教育を推進し、学校を文部科学大臣表彰受賞に導くなど、その温和な人柄と常に前向きで柔軟な調整力で教職員からの高い信頼を得、新しい農業高校の在り方を示した。 また、平成25年度には、福井県高等学校長協会副会長を務め、本県高等学校教育の振興・発展にも大きく貢献した。
	はった まさあき 八田 幸明 (男) (61歳)	福井県立敦賀高等学校長(H21.4.1～H24.3.31) 福井県立福井商業高等学校長(H24.4.1～H26.3.31)	福井市	永年にわたり、高等学校国語科の教育実践に精通し、本県国語科教育の発展に力を注いだ。 県教育庁高校教育課参事として、教員の指導力向上に努めるとともに、国民文化祭も担当し、その成功に尽力した。 その後、丸岡高等学校や武生高等学校の教頭を務め、平成21年度から敦賀高等学校長として、平成24年度から福井商業高等学校長として、授業観察による授業改善を進め、進学や就職の実績向上を図った。また、その教育成果が評価され、全国商業高等学校長協会から、福井商業高校が学校賞を授与された。 また、福井県高等学校体育連盟会長を務め、本県高等学校の部活動の振興や競技力向上にも大きく貢献した。
	ほり やすこ 堀 康子 (女) (61歳)	福井県立盲学校長(H23.4.1～H24.3.31) 福井県藤島高等学校長(H24.4.1～H26.3.31)	鯖江市	永年にわたり、高等学校国語科の教育実践に精通し、本県国語科教育の発展に力を注いだ。また、県教育研究所教職研修課長として、研修の在り方を見直し、本県教職員の更なる指導力向上を図った。 平成23年度は盲学校長として、自立を目指す個に応じた教育を進めるとともに、本県の視覚障害教育のセンター的機能の充実を図った。 平成24年度からは藤島高等学校長として、生徒の学力向上や教職員の指導力の向上に努めるとともに、「教養」を身に付け国際性豊かなグローバル生徒の育成を目指して、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の3期目の指定に尽力した。 また、平成25年度には、福井県高等学校長協会副会長を務め、本県高等学校教育の振興・発展にも大きく貢献した。
保健体育	かどのふくこ 角野 富久子 (女) (80歳)	福井県なぎなた連盟理事 (S55.4～H6.3) 福井県なぎなた連盟理事長 (H6.4～H20.3) 福井県なぎなた連盟副会長 (H20.4～現在)	敦賀市	昭和55年の福井県なぎなた連盟発足当時より県連盟、敦賀市連盟の組織づくりに尽力した。 競技の普及では平成元年より13年間、高校生を中心に教室事業などで競技の紹介や競技力の向上に努めてきた。 平成6年より福井県なぎなた連盟理事長となり、特に、組織の強化・充実に力を注ぎ続け本連盟の発展に貢献した。
	なりた ひとお 成田 仁夫 (男) (64歳)	福井県アマチュアボクシング連盟理事 (S55.4～H2.3) 福井県アマチュアボクシング連盟理事長 (H2.4～H22.3) 福井県アマチュアボクシング連盟副会長 (H22.4～H25.3) 福井県ボクシング連盟副会長 (H25.4～現在)	福井市	昭和51年の福井市ボクシング連盟設立から連盟中心として尽力し、昭和61年まで市連盟理事長を務め、連盟の基礎を築いた。 県連盟役員としては、平成2年から20年以上の永きにわたり理事長として、県内で高校生選手の底辺拡大や、競技役員員の資質向上、指導者の育成に尽力した。
	やお まさひろ 八尾 正博 (男) (65歳)	福井県卓球協会理事 (S57.4～H5.3) 福井県卓球協会理事長 (H5.4～H24.3) 福井県卓球協会理事長兼副会長 (H24.4～H26.3) 福井県卓球協会会長 (H26.4～現在)	小浜市	競技者として福井国体以来、選手、監督、指導者として活躍し、昭和63年より県卓球協会役員として、競技の普及・競技力向上に努めた。 また、日本卓球協会常務理事という重職も歴任し、中央からの最新の情報をいち早く県内に広めた。 現在は会長として大会運営などで後進の指導に尽力している。

# 平成26年度教育功労者表彰受賞者の概要

(分野別・50音順)

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
社会教育	いいた ゆきえ 飯田 幸恵 (女) (64歳)	(社)ガールスカウト日本連盟福井県支部広報委員長(H11.4~H17.3) (社)ガールスカウト日本連盟福井県支部書記(H17.4~H21.3) (社)ガールスカウト日本連盟福井県支部副支部長(H21.4~H24.3)	福井市	第9団の委員長、リーダーとして、30年にわたり団運営、少女たちの健全育成に努めている。 また、福井県支部役員として、特に県支部機関誌、節目ごとの記念誌の編集発行に尽力した。 副支部長として、種々の事業や運営に意欲的、献身的に努め、冷静で鋭い意見で、ガールスカウト運動の発展のため多大な貢献をした。 ガールスカウトと県内のボランティア活動団体との連携活動にも取り組み、事業ごとの実行委員長として成果をあげている。
	おおた あきお 太田 朗夫 (男) (78歳)	三国町社会教育委員(H11.4~H14.3) 三国町社会教育委員の会議長(H14.4~H18.3) 坂井市社会教育委員の会議長(H18.4~現在)	坂井市	福井県の社会福祉事業団職員、私立高校教員、専門学校教員を経て、平成11年度から三国町社会教育委員の会委員として、また、平成14年度からは議長として中心的役割を果たし、会の発展に寄与すると共に、合宿通学事業をはじめとする「地域子ども教室事業」の実行委員長としても尽力している。 市町村合併により坂井市へ移行してからも、市の社会教育委員の会議長として精力的に活動し、平成21年度からは県の社会教育委員連絡協議会会長に就任、県の公民館連絡協議会との積極的な連携を推進するなど、長年にわたる活動により、社会教育に精通している。
	かきもと さよこ 柿本 佐代子 (女) (68歳)	大飯町社会教育委員(H元. 4~H9.3) おおい町社会教育委員(H18.5~現在)	おおい町	温厚誠実な性格と積極的な行動力を持つ人格者で、その人柄は高く評価され、社会教育委員として旧大飯町、また、合併後のおおい町の社会教育の推進に大きく貢献し、多年にわたり社会教育・家庭教育の推進・発展に尽力し、その功績は極めて顕著である。 また、おおい町老人クラブをはじめ各種団体の事務局活動に従事しており、地域活動の推進、生涯学習の発展に力を注いでいる。
	にしの てつお 西野 哲夫 (男) (57歳)	ボーイスカウト福井連盟副コミッショナー(H11.6~H17.3) □ ボーイスカウト福井連盟理事(H17.4~現在)	越前市	ボーイスカウトの組織の中で、副コミッショナーとして長きにわたり青少年育成活動に献身的に取り組み、理事に就任後も広報委員会委員長として、広報活動に努め組織の発展に寄与した。